

佐々木 茂 光

あの日を忘れない…
地域再生へ
全力で走る

ごあいさつ

師走の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

東日本大震災津波発災からの復旧・復興事業は着実に進められ、街並み再生・防潮堤・なりわいの再生・生活基盤の再生となる事業はおおむね90%の完成を見ており、さらには、昨年末の三陸沿岸道八戸―仙台間の全線の開通は地域経済発展に大きく弾みをつけてくれております。

国においては新たな体制のもと復興、コロナ対策等あらゆる課題解決に向け歩み出しましたが少子高齢化・人口減少・コロナ感染症の蔓延・ロシアのウクライナ侵攻が地域経済住民生活に大きな影響を落としております。

県議会では次期選挙から1人区の解消をめざし、「大船渡と陸前高田住田の両選挙区を合区し、定数を2にする」ことが適用されることになりました。

「聞く・見る・動く」を基本姿勢に、これまで同様に活動してまいります。

今後とも皆様方の変わらぬ御指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

県議会の所属委員会・議連

議会選出 監査委員
議会運営委員会 副委員長
環境福祉委員会
東日本大震災津波復興特別委員会
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
地球温暖化・エネルギー対策調査特別委員会
水産振興議員懇談会 副会長
岩手県南・宮城県北議員連盟 幹事長
県北・沿岸復興議員連盟 監事
エネルギーを考える議員連盟 副会長
国際リニアコライダー建設実現議員連盟
港湾議員連盟
米穀園芸生産流通議員研究会
森林・林業政策研究会
消防防災議員連盟
葉たばこ・地域特産作物振興対策議員研究会
自然保護議員連盟
自由民主党岩手県連 副会長

復興・創生に全力で走る!!

佐々木茂光 **熱き** 思いを胸に
定例会一般質問に立つ!



東日本大震災津波からの復興について・成果と課題

問 復興プランに基づくこれまでの取組の成果と課題をどのように評価しているか。

答 復興道路、災害公営住宅、商業施設や水産加工施設の順次再開…とハード面は計画された事業の多くが完了した。今後は、コミュニティ形成支援、震災の事実と教訓の伝承復興の姿の発信、幅広い事業者の大きな減収、交通ネットワークや港湾機能を生かした施策が課題となる。

問 被災地の人口減少対策「町の活力の源は人口。基本は人」と思えるが。

答 暮らし、なりわいの再建、三陸沿岸道路の全線開通による産業への影響が人口増加に寄与する。「復興を進めるには若者、女性の定着が必要。市町村、企業など多様な主体と連携しながら沿岸地方の人口減対策を強力に進める」

問 地域おこし協力隊の任期終了後の定住支援について。

答 本県定住率は68.9%、全国平均は65.3%。これまで設立支援のほか起業セミナーを開催した。本年度は初任者向けの研修や活動分野別の交流会、相談体制整備に取り組む。

第1次産業の振興について

問 ウニの畜養と藻場再生・貝毒対策（現状の認識と対策は）。

答 畜養ウニの食味向上に向けた餌、流通業者の評価など事業化に向けた畜養技術の採算性を検証・確認していく。藻場再生は陸前高田市など5地区で、海中林の設置を支援し、生育状況を確認している。



道路交通ネットワークの整備について

問 内陸部と沿岸部を結ぶ道路ネットワーク。

答 新笹ノ田トンネルは安定的な事業予算の確保、事業効果の確認が必要となる。ILCの実現も事業効果を向上させる要素の一つと考える。

地域医療と福祉

問 医療人材や訪問看護人材の確保。

答 「参入の促進」「労働環境・処遇の改善」「専門性の向上」の視点から人材確保対策を総合的に進めてきた。令和4年度は介護職員の処遇改善に向けて、3%程度の賃上げ経費の補助を行っている。

ツキノワグマ対策について「(人身被害防止の対策が必要だ)」。

問 人里に寄せ付けない取組。

答 保護動物であることからバランスが難しいが捕獲上限数を546頭から626頭に引き上げた。個体数管理、藪の仮払い、誘因物管理などの環境整備に取り組む。

その他に定例会では以下の質問をしました。

- ・県内建設業の状況等について
- ・産業振興等の取組と県税収入について



岩手県議会議員の選挙区と定数が一部変わります。

6月定例会において、県議会議員の定数等に関する条例の一部を改正する条例が可決されました。この条例は、令和2年2月定例会で設置された「議員定数等検討会議」において、計21回にわたり検討した結果を踏まえ、議員提案により提出され、賛成多数で可決されたものです。令和5年9月に予定されている次の一般選挙から適用され、選挙区は16選挙区から2選挙区減の14選挙区となり、また、令和2年国勢調査の人口に基づき定数が配分されることから、一部の選挙区で定数が変更となります。

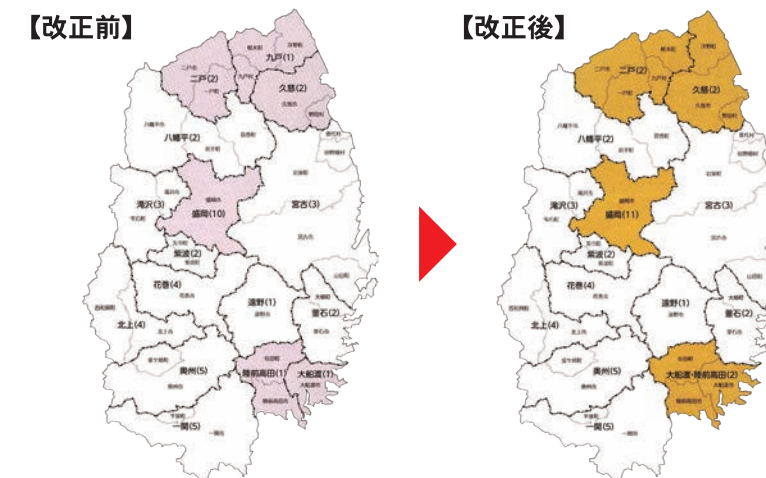
改正内容

大船渡選挙区と陸前高田選挙区を合区し、名称を大船渡・陸前高田選挙区とし、定数を2人とする。

選挙区	市町村名	定数
大船渡	大船渡市	1
陸前高田	陸前高田市・住田町	1

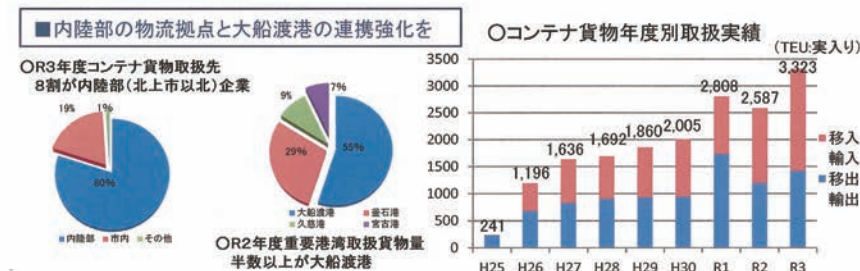
選挙区	市町村名	定数
大船渡・陸前高田	大船渡市 陸前高田市 住田町	2

■岩手県議会議員選挙区図



※1 カッコ内の数字は選挙区の定数 ※2 網掛けは見直しがある選挙区

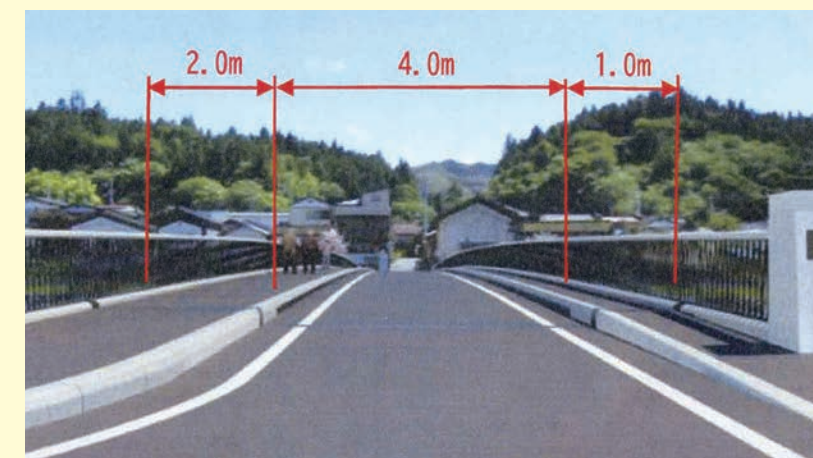
気仙地域と県内陸部を結ぶ路線の強化と国道107号及び397号の改良整備促進



ILCの資機材運搬には45フィート海上コンテナの利用も想定されています。平成28年9月に大船渡市などが実施した、45フィート海上コンテナトレーラーによる国道107号、国道397号の走行実験では、カーブのきつい箇所、すれ違いの余裕幅がない箇所等がありました。

昭和橋解体工事

風水害に備える河川改修
年明けから本格化。
2025年度末完成見込み。



新しい橋では車道の両側に歩道を設置



議会運営委員会調査



看護連盟沿岸バス路線変更要望



県北大雨被害調査



市町村重点要望調査



復興特別委員会



訪問監査



令和4年度岩手県総合防災訓練



中央陳情財務省



知事への
要望市町村重点要望

市町村重点要望調査



博物館開館記念式典



「県庁への道すがら」 徒然なるままに

12月になり、盛岡は岩手山の雪、高松の池の白鳥飛来、県庁通り石割桜の雪囲い、冬が感じられる。

いつもそうだが、盛岡に向かう時は、陸前高田から宮守IC-県庁コースだが、帰りは常にコースを変えて帰還。

ある時は、遠野-住田-R340か、そのまま大船渡。ある時は、釜石道滝観洞IC-五葉や、釜石道-釜石JC-三陸沿岸道で…。ところどころの様子が変わる。

昨年から、監査委員を拝命し、本庁はもちろんだが、県内各地を訪問監査に出向いている。議員活動、守備範囲が広がった。県土の広さを実感すると共に、改めて地域課題がみえてくる。

まさに『答えは現場にあり』その思いを持ち続け、車を走らせアクセルを踏んでいる。

経歴

昭和32年10月21日陸前高田市気仙町生まれ(65歳)

宮城県立気仙沼高等学校卒業

日本大学理工学部土木工学科卒業

(株)小野良組土木部

陸前高田市PTA連合会長

陸前高田市議会議員3期

岩手県議会議員3期

皆

さんの声をお聞かせ下さい

・ 県政に関するご意見・ご相談をお寄せ下さい。

・ 今回発行の「県政報告」や私の活動への御意見もお待ちしております。

佐々木茂光事務所

■ 発行者 岩手県議会議員 佐々木茂光

■ 発行所 佐々木しげみつ事務所

■ 発行責任者 佐々木茂光

〒029-2203 岩手県陸前高田市竹駒町字館56-1

TEL 0192-53-1771

FAX 0192-53-1770

メール shigemitu@sasa-shige.net